

## 情報経営専攻教室



情報経営専攻教室では、生産・販売・流通・経営や地域農業の振興など「実論」についての課題研究に取り組んでいます。

経営は人・物・金・情報などの経営資源と知恵を活かし、継続的に行っていくものです。現状を分析し、計画を立てて、実行し、目的を達成していきます。失敗したら何が原因だったのか反省し、改善します。このような論理的思考を養っています。

また、研究生が運営している模擬会社と密接に連携し、生産から加工・販売など様々な視点で調査研究する専攻教室です。

## 生物工学専攻教室



生物工学専攻教室では、バイオテクノロジー分野の中でも、特に植物や微生物の培養技術を主軸として、学生の興味関心に加え、地域の生産者の要望や研究機関のアドバイスを取り入れ、課題に取り組んでいます。

高圧蒸気滅菌器やクリーンベンチ、恒温室等の施設設備を活用し、ウイルスフリー苗や育種素材の作出、クローン苗の効率的な増殖法の検討、微生物の機能解明等を行っています。

## 食品加工専攻教室

食品加工専攻教室では、地域で生産された農産物やほ場で栽培した農産物を教材として、加工特性、加工貯蔵技術を学習しています。営業許可を取得している食品加工室を用い、規格外野菜や果物に着目し、農作物の生産(1次産業)だけではなく、製造・加工(2次産業)、販売(3次産業)に取り組んでいます。農産物に新しい価値をつけ、農業所得の向上につながる、6次産業化の研究を進め、地域産業の創出を目指しています。



## 土壌肥料専攻教室

土壌肥料専攻教室では、環境に配慮しながら高品質な農産物を生産する持続可能な農業のための土壌管理技術を習得します。具体的には、「農業は土力(どりょく)」を合言葉に、土壌診断に必要な各種成分の分析方法や土壌改善方法、環境保全型施肥技術、土づくりのための堆肥化技術と施用法などを学んでいます。

露地ほ場とビニールハウスを有し、学生の希望にあわせた様々な作物の栽培と土壌改良資材や肥料を用いた環境にやさしく、より経済的な農業を探索しています。

和気あいあいとした実習や分析を通じて、知識の深化を図るとともに、課題解決能力を身に付けます。



## 病害虫専攻教室



病害虫専攻教室では、農作物に被害を及ぼす病害虫の生態や防除対策について学んでいます。

令和4年度には水稲苗を食害するジャンボタニシの捕殺トラップを開発し、減農薬栽培を進めることで、絶滅が心配されるトウキョウサンショウウオを保護することができ、収穫した米をブランド米販売につなげ、その成果で全国農業大学校等プロジェクト発表会の農林水産大臣賞を受賞しました。

また、平成30年には害虫のアブラムシを食べる「飛ばないテントウムシ(商品名:テントロール)」を商品化し、農薬を使わないことで環境にやさしい農業を支える研究が、第49回毎日農業記録賞の最優秀賞を受賞するなど、全国大会で多数の入賞経験があり、成果はいちご農家やシントウ農家の経営で役立っています。